

1-10 管理運営

A 群・大学院研究科の教学上の管理運営組織の活動の適切性

B 群・大学院の審議機関（大学院研究科委員会など）と学部教授会との間の相互関係の適切性

B 群・大学院の審議機関（同上）の長の選任手続の適切性

本研究科は、教員の質を維持していくための教授会の運営と支援については、最終的には教授会の決定に依存している。

本研究科の管理運営の責任者は研究科長である。研究科長は教授会での選挙により候補者が選出され、学校法人理事会によって選任される。任期は2年である。研究科長を補佐する3名の教務主任は、研究科長の推薦により学長が委嘱し、任期は研究科長と同じ2年である。3名の教務主任の担当は、ドクター・プログラム担当教務主任、MBAプログラム担当教務主任そしてEMBAプログラム担当教務主任となっている。

教員の給与は学校法人青山学院と青山学院大学教職員組合との交渉で給与体系が整備され、年齢及び教員歴等で作成されているので、年齢及び教員歴等の条件が同じ場合には教育研究活動の成果に関係なく一律同額となる場合がある。

しかし、本研究科は、教員の担当する科目の履修登録者数に従って授業支援をしている。1コースの履修登録者数が20名未満の場合には、1コースにつき20,000円、20名以上の場合には50,000円、また、英語講義される場合は50,000円の授業準備補助と履修登録者数に従っての支援をしている。教員の教材作成の準備支援については国際マネジメント研究科合同研究室配属の学生雇員により行っている。

本研究科は、本研究科の運営のために教員に委員会活動の委員を依頼している。教員が委員会活動に参画することにより研究科のミッションの理解を高め、ミッションの実現の責務を共有している。

カリキュラムの開発・改正及び科目担当者の決定等は、研究科長、3名の教務主任そして学術フロンティア・センター長とから構成される「経営執行委員会」で原案が作成され、各専門領域代表者から構成される「経営計画委員会」で調整され、そして専任教員で構成される「教授会」で審議が行われ決定されていく。そして決定事項は各セメスター開始前に開催される専任教員、兼任教員そして兼任教員から構成される「教員会議」で説明され、教育の質を高める方策についてのオリエンテーションが実施されている。専任教授会の下には各種専門委員会が設置され、教育の質の確保に係る活動が行われ、教授会の承認を得て実施されている。

本研究科は、「理念・目的」の項目のところで述べた通りミッションを制定した。ミッション・ステ

本章 IV. 専門職大学院の取組

ートメントは、「青山学院教育方針」及び「青山学院大学の教育理念」に基づいて制定されている。本研究科は、とくに、ミッション・スクールの使命である青山学院のキリスト教主義の教育理念に基づいて、高度専門職業人の「高い倫理観」の涵養と奉仕の精神をもつ「国際的視野を身につけた企業家精神に富む人材」の育成にその整合性を求めている。